



戦後のテレビ時代
 ドラマ・アテレコの生収録現場
 NGを出す事がNGの世界を
 ひたすら駆け抜けたあの頃

時には昔の話を

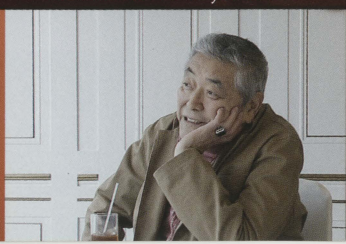
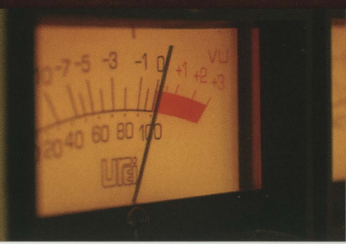
森山周一郎
 声優と呼ばれた俳優

監督 小原正至
 プロデューサー 水谷匡宏/米倉稔一郎
 製作 ベルジネ・タレント・エージェンシー
 プリネットピクチャーズ
 つくるスタジオ
 音楽 サカノウエヨースケ/PeriTune
 エンディングテーマ 「時には昔の話を」
 作詞・作曲・唄 加藤登紀子
 ナレーション 清都ありさ
 白那美アンジュ
 ARTS for the future!



森山周一郎 野沢雅子 中尾彬 島本須美 大塚明夫 LiLiCo 加藤登紀子

tokiniha.ver-bijou.com



“年の差46歳の友情”が生み出した ドキュメンタリー作品

声優時代の黎明期を築き上げ
声優と呼ばれた俳優
森山周一郎の軌跡



森山周一郎 SHUICHIRO MORIYAMA

1934年7月26日生まれ、愛知県出身。俳優・声優。

劇団東芸を経て、舞台・TV・映画で活躍。渋みのある低く重厚感のある声質が特徴で、時代劇やアクション作品では多くの悪役を演じる。

また、バラエティ番組などで司会を務めるという多才ぶりを日本のお茶の間に披露した。

その特徴的な声を買われ、俳優業とは別に、ジャン・ギャバンを始め、数多くのハードボイルドな海外俳優の吹き替えを担当する事になる。

アメリカのドラマ『刑事コジャック』のコジャック警部補が当たり役となり、作品の大ファンであったスタジオジブリの宮崎駿監督と鈴木敏夫プロデューサーからの指名により映画『紅の豚』にボルコ・ロッソ役で出演。圧倒的な存在感で、現在も国内外問わず多くのファンに支持される。

日・仏合作映画『ソラトブマチ』、独特の画風で国内外から評価を得ている手描きアニメーション『AYESHA』『檻の中のギング』といった、表現のジャンルを問わない製作スタイルの小原正至監督初のドキュメンタリー作品。

森山周一郎と小原正至の二人が共に生み出した作品の1作目『THE ANCESTOR』は、2018年米国アカデミー賞の公認であるショートショートフィルムフェスティバルにて、アニメ作品初のジャパン部門優秀賞/東京都知事賞を受賞。

2作目の『アイアンブレッヂ』では、国内外の映画祭で多くの上映を果たし、そして3作目になる本作は、森山の経験した戦後の芸能界や生収録のアテレコ、競争率が高く厳しい世界を生き続けていった術など、未来の俳優・声優達への想いを託す作品を目指す事になったが、残念ながらこれが二人が組んで作る最後の作品となってしまった。

残された小原監督が、森山の想いを絶やす事なく作り上げたこの作品には、森山の劇団東芸時代の後輩である野沢雅子や、先輩である大塚周夫の息子の大塚明夫、森山の初監督作品に出演した中尾彬、その映画の主題歌を歌ったLiLiCo、同じスタジオジブリ作品の主演を務めた島本須美、そして『紅の豚』にてマダム・ジーナ役で共演した加藤登紀子という、日本の芸能界が誇る屈指のレジェンド達が集った。タイトルにもなったエンディングテーマ「時には昔の話を」は、作詞・作曲の加藤登紀子自らが再レコーディング。

森山の想いや多くのエピソードを、温かく包み込む。

エンディングテーマ「時には昔の話を」 作詞・作曲・唄 加藤登紀子 ピアノ 鬼武みゆき

出演：森山周一郎／野沢雅子／中尾彬／島本須美／大塚明夫／LiLiCo／加藤登紀子
ナレーション：清都ありき／白那美アンジュ

監督：小原正至 プロデューサー：水谷匡宏／米倉稜一朗 音楽：サカノウエヨースケ／PeriTune 近藤真生／CHIAKI 撮影：柳澤公平／水谷匡宏 録音：ショウジタツヤ／宋晋瑞
英語字幕：サミハ・アンワー 広報・DTP：秋山葉津美 予告編ナレーション：金子貴伸 レコーディング：尾立昌典 ナレーターキャスティング：宣伝協力：二村知宏
配給協力：神原健太郎、ユーステール 製作：ベルジネ・タレント・エージェンシー／ベルジネピクチャーズ フリネッツピクチャーズ つくるスタジオ オフィス森山
協力：株式会社アクロスエンタテインメント 株式会社アクロス ACROSS FRONTIER J.ボイスタレント・プロフェッショナル・スクール 名古屋市長 犬山市 豊島区郷土資料館 新宿歴史博物館

AFF
ARTS for the future!



2022.10.21(金) - 11.3(木)
アップリンク吉祥寺より 全国順次公開



吉祥寺 PARCO B2F
UPLINK 吉祥寺
0422(66)5042 joji.uplink.co.jp